

学校の適正配置に関する今後の取組について

資料2

現在、本市では、下館北中学校と下館中学校の統合や、明野五葉学園の開校に向けた手続きを進めているところですが、市内には学校の適正規模に達しない学校が多数あるのが現状です。学校の適正配置（統合等）を、学校関係者、保護者や地域住民と合意形成を図りながら推進していくために、令和4年度に明野地区以外の小学校の保護者を対象に、学校の在り方に関するアンケートを実施する予定です。

【適正規模】

小学校・・・クラス替えが可能となる各学年2学級以上（12学級以上）

中学校・・・クラス替えが可能で、全ての教科の担任が配置できる9学級以上

平成27年7月17日策定『筑西市小中一貫教育及び適正規模・適正配置の基本方針』より

下記のとおり明野地区では、平成28年度にアンケートを実施し令和6年4月の明野五葉学園開校まで8年という長い年月をかけていることから、次の義務教育学校の設置や学校の統合による新たな学校の開校までには、同様の年月を要するものと想定しております。

年度	取組み
H27年度	「総合教育会議」を開催し、「筑西市の小中一貫教育及び学校の適正規模・適正配置の基本方針」を策定
	筑西市学校の在り方について（答申） 平成28年度に導入する小中一貫教育モデル校は、明野中学校区とする。
H28年度	学校の在り方に関するアンケート調査の実施（筑西市立小学校20校）
	筑西市学校の在り方について（答申） 【今後10年間で特に取り組むべきこと】 小中一貫教育モデル校としての実践を生かし、さらに、望ましい教育環境が見込める義務教育学校（施設一体型）の設置について検討を開始する
H29年度	明野中学校区における義務教育学校の設置に関する課題等の検討
H30年度	学校の在り方 明野地区協議会設立 義務教育学校設置に向けた協議検討を重ね、住民協議会等で保護者や地域住民と合意形成を図る
	「義務教育学校・明野地区準備委員会」を設置
R6年度	明野五葉学園開校